



八高新時代!! 君も挑戦、八高で三刀流!!

「知の泉」に「緑の風」吹く

令和6年1月9日(火)

兵庫県立八鹿高等学校

校長 山本 宏治

17

令和6年1月9日の始業式で、次の話をしました。

心で見なくちゃ、ものごとはよく見えないってことさ。
かんじんなことは、目に見えないんだよ。

これは、フランスの作家サン・テグジュペリ作「星の王子様」の一節です。目で見ることが出来る「美しさ」「すばらしさ」は、もちろん否定されるべきものではないでしょう。一方で、目には見えない絆や信頼関係こそが人の幸福、あるいは人生の充実にとって何よりも大切。

「心で見なくちゃ、ものごとはよく見えない。」心で見るということは、そう容易なことではないでしょう。しかし、簡単でない、難しい、だから「できない」「無理」ということにはなりません。目には見えない「関係性」に気づく力が重要です。これは、努力や習慣によって、なしうることだと思いませんか。

2024年のスタートにあたり、みなさんには、この「気づく力」を大いに養っていただきたい。あなたが大切な人であること、ほかの誰もが大切な人であること。このことに気づいたうえで生活できる人になりましょう。

さて、3年生の皆さん。受験本番直前の1分1秒も、今日ここでの1分1秒も、まったく等しい長さです。例えばスポーツで、普段の何気ない練習の一コマの1分1秒も、試合開始や終了の直前に訪れる1分1秒と何ら変わらない。例えば音楽においても、練習中の1分1秒も、演奏開始の一呼吸も、まったく変わることはない1分1秒の長さです。落ち着いて本番に臨めるよう、体調にもしっかり留意して力を出し切ってください。

1年生、2年生の皆さん。遠く2年先、1年先を見て「まだあんなに遠くまで行かなくちゃいけないんだ…」と考えると、何度も何度も前を見て同じ気持ちになってしまいます。むしろ、「目の前の一步」に集中してください。集中すると、おもしろくなります。おもしろくなると、はかどります。これが可能性を最大限に広げる秘訣なのです。

我が校歌の歌詞にあるとおり、八高がこれからも、ほとりに朝の花々が咲き誇り、青春の緑の風がさっそうと吹き抜ける知の泉とならんことを祈念して、式辞とします。